

事業所名 児童発達支援事業所ひまわり

支援プログラム

作成日 2024 年 12 月 2 日

法人(事業所)理念		障害児通所支援の児童発達支援事業・放課後等デイサービスの適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、指定児童発達支援の円滑な運営管理を図るとともに、障害児及び障害児の保護者の立場に立った適切な指定児童発達支援・指定放課後等デイサービスの提供を確保する。										
支援方針		ひとり一人の発達の違う子どもたちが「たのしい!」「もう一回やりたい!」「できた!」と思えることを大切にし、難しいことにも自然にチャレンジし、成長を実感することで、自信・自己肯定感をもてるようにする。そして自分への信頼感や他者への信頼感を育むことができるよう支援する。										
営業時間		8	時	30	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	安全で衛生的な環境で、やりたいことに向かって、意欲的に心と体を働かせ行動し、自らが健康で安全な生活を作り出すよう支援する。										
	運動・感覚	自分の体を意識するボディーイメージを育てる。身体をリラックスさせ自由に動かし、身体像の理解を促す。身体を動かすことで外界の物との関係を学び、危険の状態を避けられるようになる。又、五感を使い感覚刺激を与え、生き活きとした活動を支援する。										
	認知・行動	色々な遊びや活動を体験し、見通しをもって行動できるように支援する。又、人との適切な関わり方ができるよう支援する。										
	言語 コミュニケーション	子どもが言語ではなく、他の方法で表現をしようしていることをそのまま受け止め理解する。語りかけられる関係をしっかり持ち、豊富な言葉を引き出すことができる環境を提供し、話したいという気持ちが子どもの内側から湧き出てくるよう支援する。										
	人間関係 社会性	安心で安全な環境で、愛着関係や信頼関係を構築し、自分を大切に思い、他者の事も大切に思う気持ちを育むよう支援する。										
家族支援		保護者との距離感を大切にし、子どもたちの持つ課題に対して、一緒に考え取り組むことができるように、又、ご家族が困り感を伝えやすいように、ご家族との人間関係を気付く。							移行支援		個々の発達を見極め、利用量の調整や自立への支援をしていく。放デイは個々にあった内容の療育機関への移行を支援していく。	
地域支援・地域連携		地域の自立支援協議会に参加し、尾道市・基幹センター・他の療育機関との連携を図る。							職員の質の向上		事業所内研修を充実させ、市内の療育機関から案内される研修に、積極的に参加するなどし、研修報告を通して、全職員が同じ方向性を持ち、一丸となって支援に取り組むことができるようにする。	
主な行事等		作品展、そうめん流し、買い物、簡単な調理実習										